

愛知県公立高等学校PTA連合会

# 高P連だより

vol.77  
2011

◆事務局◆  
 名古屋市中区新栄一丁目49番10号  
 愛知県教育会館6階  
 TEL: <052>261-5886  
 FAX: <052>241-7048  
 【印刷】  
 手島印刷株式会社  
 TEL: <052>522-1635



## 日本の未来は高校生の力で

愛知県公立高等学校PTA連合会

会長 榎本 実

今年度、愛知県公立高等学校PTA連合会会長を務めさせていただいております榎本です。

日頃は、県PTA活動にご協力いただき、ありがとうございます。昨年度より県高P連の役員として参加させていただいております。各種の行事に参加させていただく中で様々な人との出会いがあります。私自身いろいろな事を学び、成長させていただく毎日です。皆様方の少しでもお役に立てる県高P連でありたいと思っております。

さて、3月11日、数百年に一回とも、一千年に一回ともいわれる未曾有の大地震が東北・関東地方で発生しました。この震災により被災された多くの方々に心よりのお見舞いと、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。県高P連としては、4月15日の理事会において、東日本大震災の義援金の募集についてご協力をお願いすることを決定いたしました。

各高校からたくさんの方々の義援金の

ご協力をいただきましてありがとうございます。皆様方から集めた義援金は、全国高P連を通じて、東北地方を中心とする各県の高等学校PTA連合会に贈呈され、教育現場の復旧のために役立てさせていただきます。

今回の震災による甚大な被害に加え、原発事故の動向とその影響については依然として不安視されている状況にあります。日本の未来を考えれば、今こそ「教育」が重要です。

学問だけではなく一人の人間として自立する高校生が多くなれば、日本の元気の源になります。これからの日本を背負う高校生が力こそが日本の復興の近道ではないでしょうか。高校生・保護者・教師を含めた行政の三者が一体となって、この難題を解決していくべきだと思います。

被災地の方々が一日も早く復興されますよう心よりお祈り申し上げます。



## 豊かに生きるとは

愛知県公立高等学校校長会

会長 高須 勝行

全高P連会報第69号に、高校生2年生の生活・意識調査結果の概要が掲載されており、私は精神健康度に関する二つの質問項目について興味深く読みました。

その一つ、「自分には欠点がある」と回答した高校生は、男子61・8%、女子71・6%でした。さらに「自分にはいいところがない」と回答した男子が7・0%、女子が6・0%おりました。また、「自分のことを」本気で心配している人が「いる」と断言した男子は31・9%、女子が42・4%という結果でした。ここまで自分を過小評価したり、ここまで人との関係が希薄では、生きていくこと自体がとても辛いだろうと心配になります。

日本と、アメリカ、中国、韓国の青少年を比較した調査（日本青少年研究所「2009年」）でも、日本の中高生が他の国々に比較して、自分の能力に対する信頼や自信に欠けるという結果が出ており、たいへん懸念されています。こうした自己肯定感の低さや自信の欠如、生きていくうえでの不安感などを解消し、高校生に豊かな人間性と自信をはぐくむためには、私たち大人がしっかりと彼らに向き合い、一人一人の長所を見つけて評価するとともに、率先して新しい時代への夢を語り、未来を切り拓く大切さを伝え、よりよい社会を目指したひたむきな努力や勇気を行動で示していくことが必要ではないでしょうか。

東日本大震災と巨大津波、原発事故により、多くの方々が犠牲になり、住み慣れた土地を追われる中、高校生が大人と一緒に活躍しています。未曾有の困難に堪え頑張っている被災地の人々から私たちも学び、より多くの若者が人間の社会への信頼と自分の能力への自信を取り戻して社会に貢献できるように、保護者の皆様方とともに努力してまいります。



# PTAの皆さまへ

愛知県教育委員会

教育長 今井 秀明

愛知県公立高等学校PTA連合会の皆さまには、日ごろ、本県の教育活動の振興について、御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

特に、青少年の健全育成に対し、家庭や地域社会と学校との連携の要として、格別のお力添えをいただいておりますことに、心より感謝し、敬意を表するものでございます。

さて、3月に発生した東日本大震災では多くの方が被災され、今なお復興に向け、懸命の努力を続けていらっしゃいます。そのような状況の中、公共への貢献の意識が高まり、全国の若者がボランティアとして被災地を訪れています。今後の長期にわたる復興には、このような思いやりとたくましさ兼ね備えた若者の力は不可欠であります。

次代を担う、青少年の育成は教育の根幹であります。愛知県教育委員会においては、社会の動きや教育を取り巻く状況を見極め、愛知の教育を推進していくため、この6月に「あいちの教育に関するアクションプランII」を策定いたしました。これは、

平成19年に策定した「あいちの教育に関するアクションプラン」の基本理念とめざす「あいちの人間像」の推進を引き継いだものであります。

また、この計画では、家庭・地域・学校が、その役割を十分に発揮し、それぞれが主体的に、あいちの教育の推進に取り組むことができるよう、県の施策を打ち出すとともに、教育活動を行うために必要な基盤となる教育環境づくりの取組を示しています。

今後、これらの取組を進めることにより、さらに効果的に地域の教育力を高めていくよう努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、貴連合会の上ります御発展を御祈念申し上げますとともに、保護者の皆さまにおかれましては、子どもたちの心身ともに豊かで、健やかな成長と、学校をはじめとした地域の教育環境の向上のため、今後も一層活発なPTA活動を推進されますよう、よろしくお願い申し上げます。

東西南北

地区PTA会長挨拶

## 上を向いて歩こう

### ■ 名瀬地区 ■



愛知県立天白高等学校 PTA会長  
川本 賀津三

今年三月十一日、東日本大震災という未曾有の大災害が発生しました。被災地では多くの犠牲者を出し、現在も、まだ多くの方が不自由な生活を余儀なくされています。しかし、復興に向けて、みんなで力を合わせ、頑張っています。

近年は、新聞、テレビなどのニュースはどれも暗いことばかりで、将来に対し不安を感じていることと思います。

しかし、坂本龍馬は「おれは落胆するよりも、次の策を考えるほうの人間だ」と言い、松下幸之助は「行き詰るのは行き詰るようなものを見方をしているからだ。行き詰らないような見方をすれば行き詰らないのだ」と言いました。どちらの言葉にも共通するのは、うまくいかなるとき、つい悲観的に捉えがちな見方を、柔軟な発想により前向きに捉え、次につなげるよう気持ちを切り替えていることです。今回の震災で被災地の皆さんが

頑張る姿を見て、改めて前向きな気持ちへの切り替えの大切さを感じました。これから先、将来を担う子どもたちこそ、こういった気持ちがとても大切だと思います。

## ブレイクスルー

### ■ 尾張地区 ■



愛知県立西春高等学校 PTA会長  
太田 吉宣

つい先日、仕事の関係で、自動車メーカーの主催する会合に行って参りました。その中で、技術者による新しい製品・技術についての説明・解説があり、「他社では真似できないその新技術を培うのには、相当な覚悟と信念で、取り組まなければならなかった。また、試行錯誤の繰り返しでした。我々の目指すものは、すべての領域における『ブレイクスルー』が合言葉でした。」という言葉が、特に印象に残りました。

新しいことに挑み、色々な問題に悩み、克服した喜びや達成感とその技術者の顔に滲みでていたように思いました。大な

り小なり、『ブレイクスルー』する瞬間は人生において必ずあると思いますが、大学受験も高校生にとってその一つだと思います。そして、その一つに過ぎないと思います。我々大人が、子どもたちにできることは、これから先にもっともつとブレイクスルーできる、また、しなきゃいけない機会があることを、経験した先輩として教えてあげることではないかと思えます。まだ、私もその渦中にいるのですが。

今、必要な事

■ 知多地区 ■



愛知県立半田工業高等学校  
PTA会長  
前田 裕三

教育評論家で明石家さんの『ホンマでっか？TV』等で大人気の『尾木ママ』こと尾木直樹さんが行った講話の中で、『今の高校生に欠けている力は何か』を取り上げていました。アンケートを2800校に取った結果、2位の基礎学力を大きく引き離し『コミュニケーションスキル』が87%でダントツ1位だったそうです。コミュニケーション不足は孤独を生み、いじめの引き金となり、最悪の結果として自殺という行為にいたる危険もあります。このような結果になった要因

の一つに、今の日本は教育費の自己負担が高く、先進国の中でも突出しており、その費用を捻出するため家族は仕事やパートに追われ、家族間のコミュニケーションが薄れてきている事が考えられます。『コミュニケーションスキル』を高める手段を学校や地域に委ねる前に、まず家庭でのコミュニケーションの在り方を今一度見直してはどうでしょうか？心を込めた『おはよう』『ありがとう』が元氣よく言える環境、お互いに関心を持ち会話を引き出す環境、を私達親が整えていく努力が必要ではないでしょうか。余談ですが金八先生のモデルは『尾木ママ』らしいですよ…

かけがえのない三年間

■ 西三地区 ■



愛知県立岡崎北高等学校  
PTA会長  
築瀬 太

高校時代は人生において、たいへん大きな意味を持つ三年間であると思います。もちろん今後の進路を決める三年間としても重要ですが、高校は、決して大学進学などのための通過点などではありません。自分自身を顧みても、高校時代の多く

の友人と、現在も親しく交友を続けており、仕事などの利害関係を越えた、生涯の友を得る時期であるとも言えるでしょう。

高校時代は、子どもから大人へと、心身共に大きく成長を遂げる時期ですが、それは単に知識の習得や体力の向上などだけではなく、かけがえのない経験の中で、自己を確立するとともに、社会と自分とのつながりに気づき、行動できる人へと成長していく三年間であると思います。

そして、そのための環境を整えていくことが、私ども大人の役割ではないでしょうか。

教職員や保護者がPTA活動などを通じて、しっかり連携を図り、その力を集約し、生徒達が学習に、部活動に真剣に打ち込めるよう環境を整え、あたたかく育んでいくことができればと考えています。

「絆」の大切さ

■ 東三地区 ■



愛知県立豊橋南高等学校  
PTA会長  
八木 基之

今回の震災で思ったこと、それは人と人との「絆(きずな)」、この言葉が実感

を持つて感じられたことです。想像を絶する状況の中、被災者の方が困難を乗り越えて生きていくために、助け合い支え合いながら復興に向け懸命に努力がなされています。住人同士の絆、地域の絆、日本中の人々・世界の人々との絆…多くの人が目に見えない絆で結ばれているからこそだと思えます。

子どもたちの日常生活にも、友達との絆、家族の絆、先生と生徒の絆等々さまざまな絆があります。これら家族や友達、人との絆を大切に、互いが支え合う社会の中で、自分は生かされているという感覚があれば、何が起ころうとどうにかできるのではないかと。将来向き合うであろう困難にも対処できるのではないかと。今回の震災を通してそんな思いを深めました。

固い絆を育てるには、お互いを信頼することが不可欠です。そのためには、日頃から会話を欠かさず、お互いの考え方を伝え合うこと。もちろん反発することもあります。根底では通じ合うことができるのではないのでしょうか。



# 平成23年度 アートフェスタ

—愛知県高等学校総合文化祭—

## テーマ MAXIMUM

### ■ ステージ部門

- 8月20日(土) 13時～ 愛知県芸術劇場大ホール  
開会式  
和太鼓、吟詠、津軽三味線、マーチングバンド、  
バトントワーリング、ファッションショー
- 8月21日(日) 13時半～  
愛知県芸術劇場コンサートホール  
箏曲、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽  
フィナーレ
- 8月21日(日) 10時～ 愛知県芸術劇場小ホール  
演劇、自然科学発表、放送(ビデオ作品上映)

### ■ 展示部門

- 8月16日(火)～21日(日) 10時～  
愛知県美術館ギャラリーJ室  
美術・工芸、書道、写真

### ■ 文芸部門

- 8月21日(日) 10時～  
愛知芸術文化センター アートスペースA・D・E・F室  
交流会、講演

問合せ

愛知県教育委員会生涯学習課  
052-954-6781 (ダイヤルイン)

## 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団からのお知らせ

### 発達障害セミナー

発達障害の診断を受けた子どもを持つ保護者が、講義や情報交換を通して、発達障害の子どもへの対応の方法を学びます。

月 日：9月22日(木)、10月3日(月)  
10月24日(月)、11月7日(月)

会 場：愛知県教育会館  
講 師：名古屋大学医学部附属病院  
助教 医師 吉川 徹 始め三名

募集期間：7月25日(月)～8月19日(金)

### 不登校理解講座

不登校の子どもを持つ保護者が、子どもの心の在り方と子どもへの対応の方法を学びます。

月 日：10月6日(木)

会 場：豊川市音羽文化ホール  
講 師：同朋大学 教授 臨床心理士  
目黒 達哉

募集期間：8/22(月)～9/16(金)

### ※セミナー・講座の共通事項

開催時間：午前10時～正午

定 員：30名(多数の場合抽選)

参 加 料：無料

申込方法：所定の申込書(ダウンロード可)を郵送

申込及び問合せ：愛知県教育・スポーツ振興財団  
教育振興課

【電話】052-242-1588

【HP】<http://aichi-kyo-spo.com/>

# 事務局だより

### 東日本大震災義援金

6月17日現在、一、〇五八、五二六円集まり、全高P連へ送金しました。ご協力ありがとうございました。

### 定期総会(総参加者629名)

5月20日(金) ウィンクあいち

### ○23年度四役

会 長 榎本 実(蒲郡)

副会長 玉腰 崇之(一宮興道)

〃 深津 幸彦(豊野)

〃 鈴木 栄(校長会代表)

会 計 八木 基之(豊橋南)

監 事 小林 義則(旭野)

〃 蛭川 喜信(東浦)

### ○功労者表彰

長坂 光司様(前岡崎高等学校)

P会長) はじめ141名

### ○指導者研修会(愛知県教育委員会と共催)

講演「ひとりひとりに合った

教育とはどういうものか」

京都大学霊長類研究所教授

正高 信男氏

東海地区高等学校PTA連合会  
岐阜大会(愛知県参加者608名)

6月16日(木) 長良川国際会議場



<http://www.aichikoupren.org>

愛知県高P連

検索

### ホームページをご覧ください

### 事務局職員

小田 博一(事務局長)

鶴東 光二(事務局職員)

加藤 恵子(事務局職員)

### 第61回全国高等学校PTA連合会大会 北海道大会

8月25日・26日に札幌市で開催

大会テーマ「いのち 輝け！」

基調講演：香山 リカ氏

記念講演：小菅 正夫氏

講演「家族の絆」

—生きることの素晴らしさ

戦場カメラマン 渡部 陽一氏

研究協議

静岡県立科学技術高等学校教育友会

岐阜県立加茂農林高等学校PTA